

権利サポートミモシー中部は、主任ケアマネジャー3人を発起人に医療・福祉・司法関係者の仲間と共に、2025年4月特定非営利活動法人として、産声を上げました。高齢者等終身サポート事業(身元保証サービス等)を中心に地域の皆様に信頼され社会貢献できる様に活動していきたいと考えています。各理事のミモシー中部・設立への思いをお伝えします。

理事長 加藤武範（福寿想居宅介護支援事業所・主任ケアマネジャー）

ミモシーのネーミングは、身元保証支援(みもとほしょうしえん)の略称や「私(ミー)にもしものことがあったら?」という由来が込められています。ケアマネジャー業務を行う中で、介護保険サービスで賄えない事が数多くありました。また、身元保証サービスに繋げたケースでも、「果たしてこれは正解なのか?もっと公的なサービス利用も可能では?」と思い悩むこともありました。そうした中で、志を同じくする医療、介護、司法に携わる仲間に出会う事ができ、NPO法人権利サポートミモシー中部を設立することができました。地域の為に、医療・介護事業者様と連携しながら、司法関係者にもアドバイスを頂きながら、様々な社会課題に真摯に向き合っていきたいと考えています。

副理事長 篠原和絵（介護支援センターいろは・主任ケアマネジャー）

50代で倒れた母の介護がきっかけで介護の仕事に携わるようになりました。慣れないことばかりでしたが介護保険・福祉制度を活用し、仕事と子育てに追われながらの介護生活を約30年送りました。体調不良の対応、通院、突然の入院、状況が変わるたびの母の気持ちを汲んだ意思決定など家族でなければできないことが多く辛い時期もありましたが、多くの人に支えていただき、やり切ることができたと思います。一方でケアマネジャーとしては、要介護者の方が自立した日常生活を営む為の支援や提案を行いますが、制度上の限界があります。また、身寄りがない、家族が遠方などの事情により、自立した本人の望む暮らしは疎外されてしまい、率直にもどかしい思いも抱いていました。私が多くの人に支えられてきたように、今度は私がどなたかの力になりたい。どのような状況でもその人らしく生きるとは?と考えていきたい。人生の大変な場面で力になれる伴走者でありたい。そう思っています

副理事長 増田志乃（ファミーユケアプランセンター高蔵寺・主任ケアマネジャー）

ケアマネジャーとして、様々な高齢者様と接する中で、独居高齢者、高齢者のみの世帯、親族が遠方に住んでいる、あるいは事情により家族との関係が希薄なケースなど、困難事例に数多く悩みました。ただ、ケアマネ業務では関わり切れない事がとても多くあり、「身元保証」の重要性を強く認識するようになりました。こうした問題に取り組みたいと考えるケアマネジャーの仲間や各専門分野の方々と連携し、培ってきた知識や経験、公的なサービスを利用することで不要な費用が発生することがない形の支援をNPO法人として目指していきたいと考えています。

昨今、「家族じまい」という、少しドキッとする様な言葉を聞きますが、実際はご家族が行うべきとされてきた支援を、ご家族が身元保証事業者等に依頼する、という新しい形が主流になりつつあるそうです。権利サポートミモシー中部も、多様なご事情やご本人のお気持ちに添いながら、そして皆様との「出会い」を大切に支援させていただきたいと思っております。

理事 島野泰暢（医療法人生寿会理事長 五条川リハビリテーション病院院長・医師）

2050年には単身世帯が全世帯の40%を超えると推計されています。医療界では身寄りがない人の様々な対応に難渋するケースが増えています。また、ケアマネジャーの法定外業務の増加が問題となっています。このような問題点を背景に、身元保証に対応するNPO法人としてミモシーを立ち上げることは時宜を得たものと考えます。

制度の隙間に落ち込んだ人々が適切なサービスに結び付くまでの待機場所として当法人の病院・施設を利用してもらえるように調整するのが私の役割と思っています。「玉石混交」と言われる身元保証業界で、ミモシーが誠実・安心・適切な組織に成長することを祈念しております。

理事 中島政敏（司法書士法人中島事務所・司法書士）

「昨今、高齢化や核家族化により、身寄りのない方が増えていると感じておりました。

その方々が、本当に信頼した上で高い費用を払い、身元保証サービスを依頼しているのか疑問を感じることが多くあり、サポートを必要としている方に、信頼できるサポートを提供し、寄り添うことができる組織を作ることができないかと考えていた矢先、今回の事業立ち上げの話を聞き、ぜひと思い参加させて頂きました。今後、日々勉強し経験を重ねることでより良い組織にできればと考えております。」

理事 遠田宙（株式会社ファーマアシスト 代表取締役・薬剤師）

調剤薬局の立場で、在宅医療に関わらせていただいております。主に関わるご施設での介護現場では、介護士様が365日、利用者様の健康管理に奮闘されています。

2020年からのコロナ禍におきましては救急搬送に苦慮するといった、今まででは考えられない状況に直面し、病院に入院できるよう介護施設の方が長時間尽力されている姿を目にしておりました。緊急時において、決して多くない人員配置の中でご家族の代わりに病院での付き添いをすることは介護施設の運営にとって容易なことではありません。介護士様の人員不足は社会問題化しております。見守りという専門職がこの点を補完することで社会のために少しでも貢献できれば幸いです。

理事 薦垣めぐみ（医療法人胡蝶会サンエイクリニック 副院長・看護師）

病院看護師を経て、現在は在宅医療に従事しております。近年、家族のあり方が多様化し、生き方にも自己決定、自己責任が求められるなど社会の情勢が変化していると感じます。一方で行政や法の整備はまだ十分追いついておらず、本人の意思だけでは解決できない問題が多く存在するのも現状です。いずれ誰もが直面するであろう健康や住まい、お金に関する問題。もしそれらを予め相談できる相手がいれば、心穏やかに過ごせるのではないかと考えます。元気なうちからご本人の考え方や気持ちをお聞きし、安心して日々を過ごしていただけるよう、そしてその人らしい生活ができるようお力になればと考えています。

監事 會津至人（会津至人税理士事務所 会計士・社会保険労務士）

このたび特定非営利活動法人 権利サポートミモシー中部が2025年4月1日に設立されたこと伴い監事に就任いたしました会津至人と申します。大変重責な役職を仰せつかり、身の引き締まる思いです。私は、どのようにしたら特定非営利活動法人 権利サポートミモシー中部が会員の皆様やその家族の方へ幸せを運ぶことができるか考えながら行動し、ひいては地域社会に良い効果をもたらすができるように活動していきたいと思います。最後になりますが、微力ながら全力で取り組む所存でございます。なにとぞ、よろしくお願ひいたします。



NPO 法人権利サポートミモシー中部

お問い合わせ先

TEL 080-9050-3041

〒452-0931 愛知県清須市一場 180 番地 1

NPO 法人 権利サポートミモシー中部

理事長 加藤武範